



# 【患者支援の充実】診断直後の患者ニーズへの対応

## 【現状】

- がん治療開始前までに、**56.8%**が動揺や不安から早まって退職を選択
- 治療開始前に就労継続について説明を受けたがん患者の割合が**39.5%**

## 【課題】

- がんの告知に際して、患者がうけるショックへの配慮
- 治療開始前の仕事や社会生活を送る上での問題への対応

## 【考えられる必要な対応策】

- ① 患者の漠然とした不安や悩みなど医療以外の広範かつ個別性の高い相談への受入れ体制。
- ② 治療後の生活支援を目的とした、専門的な相談。

### ○論点①

- がん診断直後の患者はどこに就労に関する相談をしているのか。
- 相談支援センターでは、治療開始前の就労継続についてどのような支援を行っているのか。
- 就労以外で相談支援センターでは対応できない相談とは、どのようなものか。

## 対応策（案）

がんサポートセンター（仮）を創設し、医療以外の相談について広範な相談を受けられる体制を構築する。

（※対応策についてはあくまで一例です）

### ○論点②

- 相談支援センターとがんサポートセンターの両建てが良いのか。
- 相談支援センターの機能を拡充する方法が良いのか。
- あるいは、その他の方法はあるのか。

がん患者

拠点病院

相談支援センター

がんサポートセンター（仮）

### （相談支援メニュー）

- がんの病態や標準的治療法等、がん治療に関する一般的な情報の提供
- がん患者の療養生活に関する相談
- 医療関係者と患者会等が共同で運営するサポートグループ活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援

### ○論点④

- 相談支援センターとがんサポートセンターの連携はどのようなかたちで行うのが良いか。
- 相談支援メニューとして、どのようなものが求められているのか。

### ○論点③

- がんサポートセンターはどこに置くのが良いのか。
- 各拠点病院毎に置くべきか。

### （相談支援メニュー）

- 就労に関する相談（ピアサポート）  
⇒ 診断直後のがん患者の漠然とした不安を時間をかけて共有
- 治療後の経済的見通しを相談
- 法的な専門家による相談支援
- アピアランスケア